（様式1）令和7年度公募（3次）

**注** 提出する際は、青文字の記載例と緑色枠等の説明文（本緑色枠含む）を削除してください。

**日本医療研究開発機構　創薬基盤推進研究事業**

**研究開発提案書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究開発課題名（英語表記） | 日本語表記 | ○○に関する研究開発■ 公募要領には最長の全研究期間が示されています。適切な期間を設定ください。■ 公募課題名を選択ください。■ 間違いがないか再確認してから、PDF化し、e-RADに登録ください。 |
| 英語表記 | Study of ○○ |
| 公募名（事業名） | 公募課題名をプルダウンリストから選択してください。 |
| 研究開発期間（全研究期間） | 令和７年９月１５日（予定） ～ 令和X年３月３１日（X年間） |
| 研究費総額 | 全研究期間での研究費総額（　X0.000千円）■ 全研究期間の直接経費の総額を記載してください。（間接経費含めない） |
| ヒト全ゲノムシークエンス解析 | [ ] :実施する 　　[ ] :実施しない※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式を提出。 |
| 研究開発代表者 | 氏　名 | フリガナ | ○○○○　○○○○ |
| 漢　字 | ○○　○○ |
| ローマ字表記 | Yyyy Yyyyyy |
| 生年月（年齢） | 19XX年XX月（XX歳：令和7年4月1日時点） |
| 所属機関（正式名称） | ○○法人○○大学 |
| 所属部署（部局） | ○○学部○○学科 |
| 役　職 | ○○ |
| 研究開発代表者の連絡先 | E-mail | YYY@YY.jp |
| TeL | XX-XXXX-XXXX |
| 研究開発代表者の情報 | <https://www>.・・・・・・■ 研究開発者代表者の情報は、連絡等にも使用する場合がありますので、正確に記載してください。■ e-RADの研究者情報と異なる場合が見られますので、最新の情報に修正ください。 |
| 研究開発代表者の研究歴（主な職歴と研究内容） |  |

**要　約**

■ 提案の全体像が把握出来るよう、1ページ以内で記載してください。

■ **研究の背景**（従来・先行技術や研究を含めて、現在どのような状況にあり、何が求められているのか）、

**目的**（背景を受け、本課題を実施する目的）、

**方法の概略**（目標達成に向けてどのような方法を用いて、研究期間内に、どのように研究を実施し、どのような成果/問題解決を得ようとするのか）、　　等について

次ページ以降の提案内容を評価者が把握・理解できるように、概要を簡潔に記載してください。

**研究の背景：**○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**目的：**○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**方法の概略：**○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

# １．研究の背景・目的

■「１．研究の背景・目的」は、3ページ以内を目途に記載してください。

■ 公募要領の「事業の概要」、各公募の研究開発課題の「目的」、「応募条件・留意事項等」を踏まえて、

**背景**（従来・先行技術や研究を含めて、現在どのような状況にあり、何が求められているのか）

**目的**（背景を受け、従来・先行技術や研究とも対比して、先進性や差異化点も含め、本課題を実施する目的）

具体的かつ明確に、評価者が理解しやすいように、記載してください。

■ 必要があれば、図や表を用いても構いません。

■ 設定した課題とゴール（到達目標）を解決するための当該研究計画の重要性・必要性が明らかとなるよう、取り組むべきニーズを含め社会的、経済的、産業的要請や科学技術上の必要性等、当該分野や関連分野の動向も適宜含めて、記載してください。

■ 当該研究計画に関して、現在までに行った研究等、研究の最終的な目標を達成するのに必要な他の研究計画、公共研究及び民間研究と当該研究計画の関係を明確にしてください。

■ 当該研究の特色・独創的な点については、国内・国外の他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかを踏まえて記入してください。エビデンス（８．研究業績に記載の文献等も引用）も適宜用いて、記載してください。

**背景**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**目的**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

# ２．研究計画・方法

■「２．研究計画・方法」は、4ページ以内を目途に記載してください。

■「１．研究の背景・目的」に記載の内容を達成するため、研究期間内に何をどこまで明らかにするかについて、次の観点も踏まえ、具体的な研究計画として記載してください。

○研究開始前：研究基盤、準備状況を踏まえ、どの様に研究を進めるか

○研究終了時：どのような成果達成するのか（目標、状態、イメージを具体的に）

○研究終了後：終了時点での成果どのように活用するのか（利活用の例や次の研究体制等）

※（３．研究の将来展望との重複は最小限に記載ください）

■「1-1 医薬品開発の進展に資する評価技術の高度化研究」および「1-2 革新的医薬品創出に資する基盤技術の高度化研究」は、企業等から意見が取り込まれていることを重視しますので、どのような対応を実施するのかを適宜記載ください。

■ 全研究期間は、「６．研究開発の主なスケジュール」と合わせて適切な期間を設定し、計画計画・方法を記載ください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

■「６．研究開発の主なスケジュール」と整合性を取り、年度ごとに**各研究開発項目**を（１）、（２）・・・と記載し、その目的、研究内容、年度ごとのマイルストーン（最終目標を達成するための節目となる目標・到達点・達成事項）を記載してください。

■ 研究計画を遂行するため、**各研究開発項目毎**の研究担当者を記載し、「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」等の具体的な役割を分かるように記載してください。

令和７年度：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（１）●●の最適化検討（研究担当者：○○大学・〇〇、□□大学・□□、(株)○○○・△△）

目的及び研究内容：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

1. ○○評価技術の確立（研究担当者：○○大学・〇〇、□□大学・□□）

研究内容：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

マイルストーン（達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項・達成される時期）：

（例）令和７年度○Qまでに、○○に到達し、○○を構築する。

■ マイルストーンは、具体的な成果内容、数値目標や達成基準等の到達点・達成事項を明確に記載してください。
「～を検討する」「～を実施する」「～を評価する」のような表現は適切ではありません。
例えば、「最適化検討」の場合、最適化した結果として、何ができるようになっているかについて、達成しようとする状態を記載してください。

■「1-1 医薬品開発の進展に資する評価技術の高度化研究」および「1-2 革新的医薬品創出に資する基盤技術の高度化研究」は、中間評価が実施される中間年度である3年度目前期終了時点でのマイルストーンも記載してください。

令和８年度：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（１）●●の最適化検討（研究担当者：○○大学・〇〇、□□大学・□□、(株)○○○・△△）

目的及び研究内容：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

1.○○評価技術の確立（研究担当者：○○大学・〇〇、□□大学・□□）

研究内容：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

マイルストーン（達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項・達成される時期）：

（例）令和８年度○Qまでに、○○に到達し、○○を構築する。

2.最適化検討（研究担当者：□□大学・□□、(株)○○○・△△）

研究内容：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

マイルストーン（達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項・達成される時期）：

（例）令和８年度○Qまでに、最適化により○○のクライテリアを満たす。

（２）〇〇病態解析検討（研究担当者：□□大学・□□）

目的及び研究内容：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

1. ◆◆◆◆◆◆◆（研究担当者：□□大学・□□）

研究内容：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

マイルストーン（達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項・達成される時期）：

（例）令和８年度○Qまでに、○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

# （以下略）

# ３．研究の将来展望

■「3．研究の将来展望」は、1ページ以内を目途に記載してください。

■ 本研究開発構想が達成された場合に期待される将来展望（研究開発成果によってもたらされるアウトカム、波及効果、インパクト及びその意義等）、社会貢献・新産業創出・科学技術イノベーション創出等について、想定し得る範囲で記述してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

# ４．研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属機関※1 | 現在の専門 | 令和7年度研究経費※２（千円） | エフォート（％） |
| 生年月（年齢:令和7年4月1日時点） | 所属部署（部局）※1 | 学位（最終学歴）学位取得年 |
|  | 役職※1 | 役割分担 |
| 研究開発代表者 | ○○　○○ | ○○○○大学 | △△△ | X,XXX | XX |
| S49/11（XX） | △△△学部△△△学科 | △△博士（○○大学）H14年 |
|  | △△△ | 研究の統括 |
|  |  | （主たる研究場所）※1△□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 | □□　○○ | △□大学 | □○□ | X,XXX | XX |
| S50/11（XX） | △△△学部△△△学科 | ○○博士（□△大学）H15年 |
|  | □□□ | データの解析 |
|  |  | （主たる研究場所）※1△□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 計　2名 | 研究開発経費合計 | X,XXX |  |

※1　所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所となる研究機関、所属部署（部局）及び役職も記載してください。

※2　研究経費については、本応募で使用を予定する直接経費を記載してください。

※3　エフォートについては、本応募で予定する割り当てを記載してください。

# ５．実施体制図

■ 代表研究機関、分担研究機関の組織（所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載）、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割がわかるように記載してください。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。

■ 下記の体制図は例示ですので、提案書作成時には削除のうえ、適切なソフトで作られた体制図を貼り付けてください。

【体制図記載例】

角丸四角形：大学等

楕円：企業

長方形：AMED

点線矢印：契約

二重矢印線：試料・情報等のやり取り、

分担

# ６．研究開発の主なスケジュール

研究開発代表者

所属（及び主たる研究場所）

氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

AMED

研究開発分担者

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

研究開発分担者

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

解析

データ提供

試料の提供

加工

■ 研究期間は最長３または５年度間ですが、適切な期間を設定し、計画スケジュールを策定ください。

■ **研究開発項目**は「２．研究計画・方法」の**【研究開発項目別の研究内容】**と一致させてください。

■ 目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。

※マイルストーン：達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項

■ 項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。

※１頁以内を目処に記載してください。

■ 連続性のある研究項目間については、関係性を簡潔に記載してください。

■ 別途作成した表を貼り付けていただいてもかまいません。なお、PDF化したときに矢印等がずれてしまうことがありますので、PDF化後に必ずご確認ください。

**＜担当者＞**

①研究開発代表者：氏　名（○○大学）

②研究開発分担者：氏　名（□□大学）

③研究開発分担者：氏　名（(株)○○○）

・・・・

## 研究開発の主なスケジュール（ロードマップ）　以下記載例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目 | 第1年度(R7年度) | 第2年度(R8年度) | 第3年度(R9年度)マイルストーン：○○○○○○○○▼ | 第4年度(R10年度) | 第5年度(R11年度) |
| （1）●●の最適化検討1.評価技術の確立2.最適化検討3.汎用化検討＜①②③＞ | ○○を最適化し、△△の解明のため次のステップで活用 |  |  |  |  | マイルストーン：○○○○○○○○▼ | マイルストーン：○○○○○○○○▼ |  |  |  |
| （2）〇〇病態解析検討1.◆◆◆◆◆◆◆2.●●●●●●●＜②＞ |  |  |  |  |  |  |  | ▲マイルストーン：○○○○○○○○ |  |  |
| （3）〇〇○○検討1.◆◆◆◆◆◆◆2.●●●●●●●＜①③＞ |  |  |  |  |  | ○○を解明し、△△のため次のステップで活用 |  |  |  | ▲マイルストーン：○○○○○○○○ |

# ７．各年度別経費内訳

**１）各年度別経費内訳**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |  |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費※ |  |  |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%目安） |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |

PI人件費対象者氏名（この研究でのエフォート率、申請額）：○○　○○（○％、約○○千円/年）

■ 研究力向上のための制度（PI人件費）に関する記載も審査の対象となります。

■ 当該制度を利用する場合は、提案時の記載が必須です。

期待される効果：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

注：PI人件費

研究力向上のための制度（PI人件費）の利用を希望する場合は、以下の条件を満たしていることを確認の上、以下の項目を記載してください。。（希望しない場合は、記載不要です。）

① 直接経費にPI の人件費（の一部）を計上することについて、PI 本人が希望していること。

② PI が所属する研究機関において、確保した財源を研究力向上のために適切に執行する体制が整備されていること。

③ PI が所属する研究機関において、研究の業績評価が処遇へ反映されるなどの人事給与マネジメントを実施していること。

参照：研究力向上のための制度（PI人件費）<https://www.amed.go.jp/keiri/youshiki_itaku.html#i00-01>

**２）直接経費の具体的な使用目的**

■「７.各年度別経費内訳」の各項目について、1年度当たり1,000千円を超える設備備品費、旅費、人件費の支出を予定している場合、例示を参考に簡潔かつ具体的に記載してください。

（１．設備備品費）

　　・研究開発項目（１）●●の最適化検討における△△を測定するために用いる□□の購入：●●千円（R7）

（２．旅費）

　　・R8年度○○学会における成果発表および情報収集のための旅費

（研究開発代表者他□名、出張先国名 都市名（米国□□））：●●千円

（３．人件費・謝金）

　　・研究開発項目（１）の●●の最適化検討における△△分析検討を実施するために雇用する人件費：●●千円（R7～R11）

　　・研究開発項目（２）の〇〇病態解析検討における△△を実施するための□□に対する謝金：●●千円（R8）

 （４．その他）

　　・研究開発項目（２）の〇〇病態解析検討における△△分析／□□作成のための外注費：●●千円（R7～R11）

# ８．研究業績

■「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（概ね一人につき5～10編程度）を選択し、直近年度から順に記載してください。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「●」を付してください。

■ 特許権等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）を記載してください。

## （1）研究開発代表者　○○　○○

＜論文・著書＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic…, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

＜特許権等知的財産権の取得及び申請状況＞

＜政策提言＞

○○○○○○ガイドライン（○○学会編　XXXX年）

## （2）研究開発分担者　○○　○○

＜論文・著書＞

●M.Kakukaku, T.Dddd, A.Eeee, T.Ffff, Study on Hepatitis…………, Nature, 2020,12,32-40

M.Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T.Ffff, Study on Malaria………, Nature, 2019,10,45-54

（Researchmapのテキスト出力を貼り付けた例）

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020年3月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020年2月

■ 本研究開発課題の研究開発代表者の応募時点における、（1）応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。)、（2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）、（3）その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。

■「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。

■「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

# ９．研究費の応募・受入等の状況・エフォート

## （1）応募中の研究費（令和７年６月２日時点）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和７年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 【本研究開発課題】申請者本人への配分予定額（直接経費）（R7～R11） | ○○と△△の相関に関する実験的研究（○○○○） | 代表 | 16,000[80,000] | 20 | （総額　100,000千円）\*研究開発課題全体（直接経費）の総額例）（16,000＋4,000（分担者））×5年 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R7～R9・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額） | 代表 | 3,000[9,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額　9,000千円）\* |
| 令和7年度○○財団研究助成金（R7・○○財団） | 上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

## （2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和７年６月２日時点）

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和７年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 令和5年度○○財団研究助成金（R5・○○財団） | ●●と□□の研究（○○○○） | 代表 | 1,000[5,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額　5,000千円）\* |
| ○○事業（R3～R7・AMED） | ●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[5,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

\* （　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

## （3）その他の活動

エフォート：　50　％

# １０．これまでに受けた研究費とその成果等

■ 本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、（１）【AMED事業】と（２）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。

■ AMED事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。

■ それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、研究開発課題名、研究開発代表者又は研究開発分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果も簡潔に記載してください。

（記載項目）

資金制度名：

期間（年度）：H 年度～H 年度

研究開発課題名：

研究開発代表者又は研究開発分担者の別

研究開発経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

## （1）【AMED事業】

研究開発代表者：○○　○○

・AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、研究開発代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

・AMED　○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、研究開発分担者、40,000千円

××××の成果を得た。

研究開発分担者：□□　□□

・AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、研究開発代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

## （2）【それ以外の研究費】

研究開発代表者：○○　○○

・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、研究開発代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

研究開発分担者：□□　□□

・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、研究開発代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

# １１.本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

■ 以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED事業の研究開発課題において記載を求めるものです。別途、公募要領に特記事項等として条件が付されていない限りは、採否に影響ありません。なお、記載内容は今後のAMED事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

**（1）医学研究・臨床試験における患者・市民参画（PPI：Patient and Public Involvement）について**

詳しくは公募要領12.1.2「医学研究・臨床試験における患者・市民参画（PPI）の推進」をご参照ください。AMED研究への患者・市民参画：<https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html>

患者・市民参画の取組：

本研究開発課題にて行う○○の臨床試験のプロトコルを作成するにあたっては、○○の患者団体との対話を通じて、○○に関する患者や家族側の意見を参考にする。

## （2）キーワード（疾患名以外、10単語以内）

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。(例：研究手法、使用技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位（臓器、組織、細胞等）、対象集団（妊産婦、AYA世代など）、実験動物等、の具体名)

1.△△計測　　2.○○合成阻害剤　　3.　．．．．．．

## （5）対象疾患（10個以内）

研究の主題に近いものから順番に、主要な疾患名を10個以内で記載してください。

なお、未診断疾患が対象の場合は「未診断疾患」、具体的な対象疾患が無い又は未定の場合は「対象なし」と記載してください。

1.△△感染症　　2.○○病　　3.□□症候群　．．．．．．